



今こそ 仁愛・誠意の藩政革新で士も民も救った

山田方谷と古本大學活用書

明德出版社



池田弘満著

本書を推す パナソニック株式会社 谷井昭雄 社長（元・第四代社長）

コロナと、又、大きく変化する世界で、全ての人が「如何に生きるべきか」を問われています。徳川の時代に、人を育て、藩の経済を再興した、山田方谷。その山田方谷の生き方と山田方谷による『古本大學』講義をまとめたこの本は、教育の場にあった池田弘満氏の永年の思索と実践の結実です。

明德出版社 定価（本体2,000円＋税）

本体 2,000 円＋税

どう生きるか、

山田方谷の生き方と

『古本大學』に学ぶ

仁愛・誠意を根源に志し、士民を救う実用本学求め学び、成した政策実例を古本大學に照らし解説

「コロナと、又、大きく変化する世界で、全ての人が」如何に生きるべきか」を問われています。徳川の時代に、人を育て、藩の経済を再興した、山田方谷。その山田方谷の生き方と山田方谷による『古本大學』講義をまとめたこの本は教育の場にあった池田弘満氏の永年の思索と実践の結実です。」

（パナソニック株式会社客員（元・第四代社長）谷井昭雄氏より）

（両冊、目次は裏面へ）

明德出版社



池田弘満著

方谷思想の原点

備中松山藩における財政再建で知られる山田方谷。その山田方谷の思想の本となった書である『古本大學』。本書は山田方谷自身による『古本大學』講義を原文と分かり易い現代訳と解説を収録。

明德出版社 定価（本体2,000円＋税）

本体 2,000 円＋税

山田方谷述
『古本大學』

方谷が成果を上げ続けた生き方
考え方の原点となった『古本大學』の実際の講義録を解説

備中松山藩における財政再建で知られる山田方谷。その山田方谷の思想の原点となった書である『古本大學』。

本書は山田方谷自身による『古本大學』講義を構造化し、原文と分かり易い現代訳と注釈の解説書。リーダー・指導者の実用本学書であり、又、経済（経世在民）の教科書となり「持続可能な社会」実現の書。

混迷の幕末、藩政革新で十万両の借財を七年間で十万両の余財とし士も民も救った方谷。貧しいながら両親の愛情の中で育ち経学を学び 16 歳で一家の主として家業農商家を継ぎながら誦読を続け、藩主に認められ二人扶持給与。遊学後藩校会頭拝命、が、会頭罷め志立て実用学求め佐藤一斎塾で学ぶ。後それを実用し革新成り人財を育てる。 【お求めは裏面で】

どう生きるか、
山田方谷の生き方と『古本大學』に学ぶ

目次

はじめに

第一章 山田方谷とは

- 一、よき家族に育てられ愛着形成
- ／二、身の周りのことができるよ
- うになる生活身辺の自立期／三、
- つまずきながらも精神的に自立す
- る青年期でアイデンティティ形成

第二章 成果を上げた方谷の生き方

- 考え方の本
- 一、二十六歳の三つの随筆／二、「本」を探る

第三章 士も民も救える実用学を求めて

- 一、目的意識を強くもち京都遊学
- 二、実用学を求め、江戸遊学へ三、幅広く学び人を育てる

第四章 士も民も豊かに幸せにする革新

- 一、元締役兼吟味役を拝命し財政
- 革新／二、郡奉行を拝命し国政を
- 立てる／三、創業から守成人選
- いで成果を上げ続ける

主な引用及び参考文献

おわりに

山田方谷述

『古本大學』

目次

はじめに

古本大學序 (王陽明撰)

方谷はじめに

第一章 大學のあらまし

第二章 古本大學の主意

第三章 なぜ古本大學へ復るのか

第四章 むすび

古本大學講義

方谷講義のはじめに

第一章 概要

三綱領、六条目、致知格物

第二章 誠意

一、誠意とは／二、三綱領の証

抛

第三章 正心・修身・齐家・治国

第四章 平天下は絜矩の道

- 一、絜矩の道／二、財用の取扱
- ／三、人の選用／四、財用の取
- 扱、まとめ

主な引用及び参考文献等

おわりに

お申込み書

(お支払いは同封振込用紙で。1万円以上お申込みの場合、送料無料です。)

| 書名 | 価格 | ご注文数 |
|---------------------------|------------|------|
| どう生きるか、山田方谷の生き方と『古本大學』に学ぶ | 税込 2,200 円 | 冊 |
| 山田方谷述『古本大學』 | 税込 2,200 円 | 冊 |
| ご送付先 | | |
| 氏名 | 電話番号 | |
| 郵便番号 | 携帯番号 | |
| 住所 (建物名含む) | | |

FAX 06-4797-9571 電話 06-4797-9570

NPO 法人論語普及会 大阪市北区中津7-5-21 アイオイ第一ビル3F303号室

E-mail rongo@violin.ocn.ne.jp